

令和3年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室:福祉子ども部医療福祉総務室

※市民の方に概要がわかるよう、必要に応じて、枠を広げて記載してください。

1 管理運営の状況等

(1)施設名	名張市老人福祉センター「ふれあい」
(2)指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内79番地
(3)施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	年間延べ利用者数 12,412人 開館日数 269日 ※緊急事態宣言による休館(8月27日～9月30日) ※旧町水道管破損による濁水事故による休館(11月27日) ※三重県まん延防止等重点措置による一部事業の休止(1月24日～3月6日) ※昨年に引き続き、利用時間の短縮(9:30～16:00)、感染対策が十分に行えないカラオケルーム、湯茶の提供、新聞・雑誌の提供を休止しています。
(4)市支出額	指定管理料 24,840,000円
(5)管理運営の状況	①管理施設の管理運営に関する業務 ②生きがい活動、趣味活動、日常訓練及び入浴に関する業務 ③福祉バスの運行管理に関する業務 ④管理施設の設備及び備品の管理に関する業務 ⑤保健及び福祉等の関係機関との連携

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	<p>(1)新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止への取組</p> <p>●入館時 マスクの着用、手指消毒を徹底し、利用者の入館時の検温と体調チェックシートによる体調チェックでかぜ症状の有無を確認し、37℃以上の発熱やかぜ症状がある場合には利用の自粛をお願いし、同居家族の方の体調も確認した。検温は、非接触体温計での職員による測定又は顔認証体温計を用いた利用者による測定のいずれかを行っていただくよう徹底した。</p> <p>●施設管理・利用 3密(密集・密接・密閉)対策として、換気の徹底、温湿度管理を行い、浴室は脱衣ロッカーを1列あけて利用いただき、黙浴の啓発を行った。教養娯楽室は、対面を避けて椅子を配置し、飛沫防止シートを設置。飲食時の黙食も啓発した。ヘルストロン、マッサージ機は1つ間隔をあけるといった感染対策の徹底を図った。</p> <p>●趣味活動、サークル活動 囲碁、将棋、マーじゃんは、「名張市市民活動における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)を遵守し、飛沫防止シートの設置などの環境改善を図った。</p>

平等利用の確保、利用者サービス向上の取組

(2)利用者の平等な利用の確保

●福祉バスの運行

福祉バスの運行は、地区別に曜日指定で、週4回（月・火・水・金）運行

●平等利用

施設内の限られた機器や設備を皆さんに利用していただけるよう対応した。ヘルストロンやマッサージ機器を独り占めすることがないように、貼り紙や声かけなどを行い、お互いが気持ちよく利用できるよう目を配り対応した。利用後の消毒は利用者の協力を得て継続実施している。

コロナ禍での施設利用が2年目となり、自主的なサークル活動については、感染対策を徹底しながら可能な限り活動が継続できるよう、「ガイドライン」に基づき、各サークル活動の方と活動環境の確認を行うといった支援を行った。また、ローテーション勤務による職員対応の違いが生じないように、申し送りを徹底し対応した。

利用者の意見・要望の聴取のために意見箱を設置。職員は、利用者との日常的な関わりにおいて、利用者の意見や要望を聞き出し、業務改善につなげている。

(3)障害者・高齢者等への配慮

・老人福祉センター「ふれあい」は、老人福祉法に則る社会福祉施設であり、65歳以上の高齢者はもちろんのこと、障害者等も利用できることから、より安心・安全な利用ができるよう対応している。

・新型コロナウイルスに感染した場合に重症化しやすいと言われる方が利用する施設であることから、利用の際は、マスク着用、手指消毒、検温、体調チェックシートで利用者の体調確認を徹底している。

・検温コーナーや受付に職員が常駐し、検温、利用料の徴収、利用者対応を行い、円滑な利用に努めている。

・入館時の記帳が困難な方には聞き取り代筆等を行っている。

・利用者用のシルバーカー、歩行器、車椅子等を設置。

・利用者の平均年齢は高くなっており、足腰に不安がある方、物忘れがある方など、利用時も見守りが必要となる方が増加しており、利用時の継続的な見守りや声掛けを行っている。

・利用時の見守りにより、必要があれば家族の方へ連絡をとり、様子を伝えるといった対応も行っている。

・必要時には、他の関係機関（地域包括支援センター、まちの保健室、生活支援室、介護保険事業所など）と情報交換を行った。

・福祉バスは、優先的にノンステップバスを走行。帰宅時に事前にアナウンスを入れ、乗り遅れないよう、施設内の確認と声かけを実施。

【利用者の安全管理】

・施設内の見回りについては、入浴時及び入浴後の体調不良の訴えに備え、浴室・脱衣室を重点的に、必ず30分ごとに実施。利用者の状況によってはより頻回な見守りを行う、または浴室利用抑制を促すなどの対応により、事故を未然に防いでいる。

・歩行状態が不安定な方が利用される際、声かけを行い、行動・様子の見守りを実施。

・浴室利用時に限らず、体調不良を訴える方（又は体調の悪そうな方）や普段の様子と違う方（元気がない方）等に対して、声かけ・相談、バイタルチェックを行い、本人同意のもと家族や専門機関への連絡調整や情報提供を行った。

・血圧の自己管理ができるように血圧計を設置。

・新型コロナウイルス感染症の感染対策として、利用時のマスク着用を声かけ徹底し、飲食以外のマスク着用をポスターにより周知。食事前の手洗いや手指消毒についても周知を図った。

・インフルエンザの流行時期には、新型コロナウイルスとともに感染予防のためのポスターやチラシで啓発、声かけし、予防接種の推進、マスクの使用や手洗いなどを周知した。

・AEDの設置により、急変時に備えた。機器の定期点検を実施した。

・総合福祉センターふれあいの消防訓練に参画し、消防設備を確認した。災害時等に備え、ヘルメット、懐中電灯、屋外避難用スリッパを設置した。

<p>平等利用の確保、利用者サービス向上の取組</p>	<p><b>【利用環境の整備・施設設備の利活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策として、窓を開放、扇風機による換気を行った。その際の温度調節は、加湿器、エアコンを使用。密にならないよう、浴室の脱衣ロッカーを一行空けて利用してもらったり、ヘルストロンの利用人数制限を行ったり、マッサージ機については間隔をあけて配置。教養娯楽室では対面を避けて机と椅子を配置。囲碁・将棋、マージャンは、「ガイドラン」を遵守し、飛沫防止シートも設置した。</li> <li>・利用者が衛生的に施設や備品が使用できるように、清潔の保持に努めた。日常的な清掃とともに、アルコールや次亜塩素酸による消毒を時間ごと、利用者ごとに実施。</li> <li>・広間の低い机に対応するよう、座椅子のほか座布団を活用いただいた。</li> <li>・利用者の買い物や昼食弁当持参に対応するため、食品保存用の冷蔵庫を利用いただいている。</li> <li>・ポットにお湯を沸かし、昼食のカップ麺など自由に使用できるようにしている。</li> <li>・お弁当の温めなどに利用していただける電子レンジを設置。</li> </ul>											
<p>施設効用の最大限発揮(利用促進、利用者増など)に向けた取組</p>	<p>(1)啓発</p> <p><b>【利用促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用案内チラシは、毎月の介護保険証新規交付時に同封。送付された案内チラシを持参して見学に来られるなど、利用につながっている。また、民生委員児童委員にも利用案内チラシを配布(社協地域福祉係協力)したほか、福祉まちづくりセンターにも案内チラシを設置。</li> <li>・市庁内動画モニター、FMなばりシティインフォメーションで、利用案内を放送</li> <li>・社協の広報誌「ほほえみ」やホームページに利用案内を掲載</li> <li>・利用の問い合わせなどに対しては、施設理解を得るために見学していただき、その後の利用につながった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による休館及び再開等の情報は、社協や市のホームページに掲載し、周知徹底を図った。介護予防事業の参加予定者には、個別の電話連絡により対応した。</li> <li>・利用者が現金を持ち歩くことを少なくするため、回数券をカード化した「ふれあいカード」を活用。利用促進のため、利用済みカードを応募券とし、月1回「お楽しみ抽選会」を行い、当選者には、1日無料利用券を発行するといった取組を行った。</li> </ul> <p>(2)生きがい活動支援通所事業</p> <table border="1" data-bbox="346 1496 1538 1675"> <tr> <td>生活相談</td> <td>受付等にて、利用者の暮らしの不安等の相談に応じた。</td> </tr> <tr> <td>「替わり風呂の日」</td> <td>毎月1週間、入浴剤等で「替わり湯」を実施。</td> </tr> <tr> <td>各種発表会</td> <td>利用者の楽しみや生きがいに繋がるよう発表と交流の場を提供。開催にあたって、利用者の方やボランティアの方の協力を得た。</td> </tr> </table> <p>○サークル活動の立ち上げを支援</p> <table border="1" data-bbox="346 1720 1538 1888"> <tr> <td>カラオケ教室</td> <td rowspan="4">サークル利用者数合計397人</td> </tr> <tr> <td>いきいき書道クラブ(漢字・かな)</td> </tr> <tr> <td>ながつきの友(茶道)</td> </tr> <tr> <td>レクレーションクラブ</td> </tr> </table>	生活相談	受付等にて、利用者の暮らしの不安等の相談に応じた。	「替わり風呂の日」	毎月1週間、入浴剤等で「替わり湯」を実施。	各種発表会	利用者の楽しみや生きがいに繋がるよう発表と交流の場を提供。開催にあたって、利用者の方やボランティアの方の協力を得た。	カラオケ教室	サークル利用者数合計397人	いきいき書道クラブ(漢字・かな)	ながつきの友(茶道)	レクレーションクラブ
生活相談	受付等にて、利用者の暮らしの不安等の相談に応じた。											
「替わり風呂の日」	毎月1週間、入浴剤等で「替わり湯」を実施。											
各種発表会	利用者の楽しみや生きがいに繋がるよう発表と交流の場を提供。開催にあたって、利用者の方やボランティアの方の協力を得た。											
カラオケ教室	サークル利用者数合計397人											
いきいき書道クラブ(漢字・かな)												
ながつきの友(茶道)												
レクレーションクラブ												

施設効用の最大限発揮(利用促進、利用者増など)に向けた取組	<b>(3)介護予防事業【※指定管理ではなく、一般介護予防事業において実施】</b>	
	健康相談	入館時の体調チェックで検温、体調確認、希望者への健康相談に応じた。
	一般マシン・トレーニング教室	運動器機能向上のため、1クール7回のコースでマシン・トレーニング教室を実施。さらに、マシン教室経験者を対象に、1日追加してマシン・トレーニングを実施できるようにした。
	スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー（ボランティア）の協力を得て実施。
	体操の時間	身体機能の低下を予防するため、気軽に利用時に体を動かす機会を提供。
	ヨーガ教室	次年度の本格実施に向けて、2日コースで計画しましたが、まん延防止等重点措置により延期、1回の実施となった。
	介護予防啓発	健康づくりや介護予防の意識づけ、知識の普及のためチラシを作成・配布。
	脳トレ	数独、漢字、ことわざ、間違いさがしなどのチラシを毎週更新し、提供。
	お口の健康	口腔機能の維持向上を目的に、啓発チラシ「はっちゃんだより」の作成・配布。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	<p>当施設設置機器の特性から点検を実施。経年劣化した設備、機器の故障や汚損箇所の把握に努め、修理対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もみじの湯洗い場シャワー水栓取替工事</li> <li>・もみじの湯ろ過器制御用ブレーカー取替工事</li> <li>・もみじの湯換気扇修理</li> <li>・トイレ便座交換</li> </ul> <p>また、日常的な経費削減の取り組みとして、利用時間や利用状況に合わせた節電を実施。浴室の流水定量化による節水、安全確認のための見回り時には蛇口の閉め忘れがないかなどの確認を行った。</p>	
施設管理を的確に行う人員配置・職員研修等への取組	<p>高齢者や障害者が利用する社会福祉施設であり、日常業務における運営は保健師、介護員（ヘルパー2級）の資格を持つ職員を配置して、施設管理や相談援助などを行った。</p> <p>介護予防事業の「マシン教室」の実施においては、「介護予防運動指導員」の資格を持つ、介護員、保健師が担当するとともに、介護員への次世代育成指導も併せて行った。「スクエアステップ教室」においても有資格者が担当し、スクエアステップリーダー（ボランティア）の活動支援も行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続に向けたBCP（事業継続計画）を作成し、備蓄品を整備。</p> <p>総合福祉センターの防災訓練に参加した。</p>	

### 3 施設管理者（名張市）評価

指定管理協定に基づく業務は適切に実施されています。今後も利用への様々な配慮を実施し、利用促進に関する取組に励み、より一層のサービス向上に努められたい。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、適切な衛生管理を徹底し、引き続き市民の皆様が安心して利用していただける施設管理・運営を行っていただきたい。

名張市老人福祉センターふれあいの管理に関する業務の収支決算書(令和3年度)

(単位:円)

区分	項目	予算額	決算額	内訳等
収入	市受託金収入	24,840,000	24,840,000	老人福祉センター指定管理料
	利用料収入	2,460,000	2,478,750	センター利用料
	経常経費寄付金収入	0	1,040	令和元年度マシン教室参加申込者有志
	受取利息配当金収入	1,000	320	
	雑収入	43,000	43,120	実習謝礼、濁水事故損害分
	収入合計(A)	27,344,000	27,363,230	
事業支出	人件費支出	4,434,000	4,301,323	職員給料 836,775 退職給付引当資産 81,000 職員賞与 264,263 法廷福利費 514,062 非常勤職員給与 2,605,223
	事業費支出	22,250,000	22,488,619	水道光熱費 6,063,187 修繕費 93,500 保健衛生費 98,438 通信運搬費 6,380 消耗品費 294,278 広報費 49,500 器具什器費 64,460 業務委託費 15,220,663 賃借料 438,048 教養娯楽費 79,215 損害保険料 76,000 保守料 4,950
	事務費支出	437,000	419,668	福利厚生費 11,036 研修研究費 15,000 消耗品費 48,199 租税公課 21,183 通信運搬費 42,110 業務委託費等 212,000 手数料 25,613 保守料 12,320 保険料 14,156 職員被服費 18,051
	負担金支出	29,000	29,000	法人税、住民税及び事業税支出
	事業区分間繰入金支出	0	0	
	支出合計(B)	27,150,000	27,238,610	
	収支(A)-(B)	194,000	124,620	

※予算額は最終補正予算額